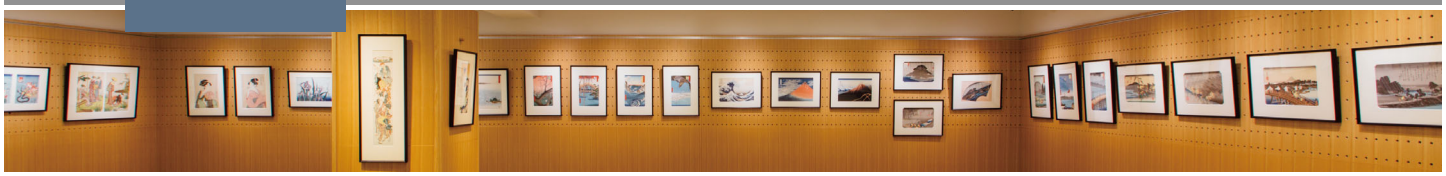
Spring
2026

Adachi Foundation

NEWSLETTER

公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団



2026年、アダチ伝統木版画技術保存財団は、設立32年目を迎えました。昨年は、4月に上野・東京国立博物館にて「浮世絵現代」が開催され、またNHK大河ドラマ「べらぼう」で版元・蔦屋重三郎が主人公として取り上げられるなど、浮世絵やその制作工程に多くの注目が集まる一年となりました。
本年は、こうした関心の広がりを受けて、これまで以上に国内外へ本財団の活動を紹介できるよう努めてまいります。本年度も、皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年春のご報告より

2026年度 定期技術実演会日程のご案内

毎年ご好評をいただいております摺師による浮世絵摺実演会につきまして、2026年度の日程が決まりました。賛助会員の皆様には、優先的にお席をご用意しております。若手摺師たちの研鑽の成果を、是非間近でご覧いただけましたら幸いです。日程の詳細は、別紙や裏面をご参照ください。



第29期高度技術研修が始まりました

2026年4月1日より、第29期高度技術研修生として、彫師を志す女性1名が研修を開始いたしました。先輩彫師の指導のもと、日々熱心に技術の習得に励んでおります。研修期間は6か月で、9月末まで続く予定です。



アダチUKIYOE大賞授賞式が開催されました

3月24日、第17回アダチUKIYOE大賞授賞式を開催いたしました。本大賞は、未来の浮世絵師を発掘することを目的に毎年実施している公募展です。今回は、大賞に丁子紅子氏、優秀賞に米国からAnuj Shrestha氏、佳作に荒井かれん氏、勝倉大和氏が選ばれました。大賞および優秀賞の受賞者は、これから彫師・摺師と共に木版作品を制作していただきます。



賛助会員の皆様へお知らせ

進呈作品配布時期が変更になります

賛助会員の皆様にご案内しております進呈作品につきまして、2026年度は配布時期を変更させていただくこととなりました。これまで12月上旬より配布しておりましたが、2026年度は翌年、2027年１月中旬より配布を開始する予定です。皆様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

浮世絵ご優待をご存知ですか？

世界的にも高い評価をいただいておりますアダチ版復刻浮世絵木版画は、本財団の賛助会員の皆様に、いつでも10％割引にてお求めいただけます。昨年は、NHK大河ドラマ「べらぼう」の放映などをきっかけに、浮世絵やその制作工程にあらためて注目が集まりました。ご自宅でお楽しみいただく作品としてはもちろん、ご贈答用としてもぜひご利用ください。



2026年度 浮世絵摺り実演会

- 第１回　6月 6日(土)　午前10:30より
- 第２回　6月 6日(土)　午後 2:00より
- 第３回　9月26日(土)　午前10:30より
- 第４回　9月26日(土)　午後 2:00より
- 第５回　11月28日(土)　午前10:30より
- 第６回　11月28日(土)　午後 2:00より

※スケジュール詳細は、別紙や財団HPをご参照ください。

理事長よりご挨拶

平素より本財団の活動にあたたかいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。昨年4月に東京国立博物館　表慶館にて開催されました「浮世絵現代」展から、早くも一年が経過いたしました。

この4月からは、その展覧会をきっかけに本財団の活動に関心を寄せた研修生が、彫師を目指して日々研修に励んでおります。本財団設立の大きな目的の一つである後継者育成事業は、賛助会員の皆様のご支援に支えられております。

江戸時代より職人から職人へと受け継がれてきた伝統木版技術を、次の世代へ確かにつないでいくため、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、東京・目白にございます本財団の常設展示場では、伝統木版の制作に関する展示のほか、季節の浮世絵や現代作品もご紹介し、皆様をお迎えしております。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

理事長　中山浩子

アダチ伝統木版画技術保存財団・目白常設展示場
〒161-0033 東京都新宿区下落合3-13-17
03-3951-1267　adachi@adachi-hanga.com
（最寄り駅：JR目白から徒歩約10分）

財団展示場の詳細はこちら